やってよかった「お元気ですか」訪問

来てくれて本当にうれしい

「お元気ですか?何か困ったことはありませんか?熱中症に気をつけてね」と、7月から80歳以上の友の会会員さんへの訪問に取り組んでいます。

友の会から来ましたと言うと、「暑いのによう来てくれはった」「ゆっくりしていって」と歓迎されました。通院のことや日々の食事のこと、お子さんのこと、ご近所のことなど話は弾みます。「足が悪くなって、ずっと家に居る、来てくれて本当にうれしい」と、訪問する私たちにも楽しい時間となっています。

昨年の台風でブルーシートのままの家、通院手段や介護保険のことで相談を受け、地域の包括ケアにつなぐ事例も。「訪ねてみて、はじめてわかることたくさんあるね」「もっと会員さん訪問しなあかんね」と参加した職員からも感想が寄せられました。

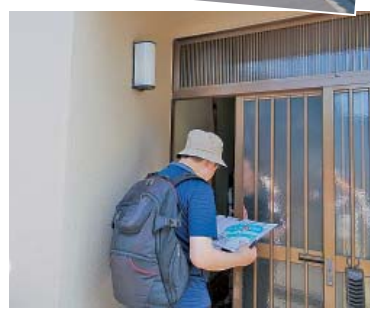
さあ出発!

食事会のお誘いに

週1回のふれあい昼食会で近頃見かけないOさん宅に、食事会のお誘いも兼ねて、訪問しました。「体調が悪くてしばらく昼食会に行けなかったけど、9月からまた参加したい」お話しできて本当に良かったです。

（事務局）

次のお宅は?



こんにちは!

困りごとはありませんか

訪問後、みんなでミーティング

介護の現場から⑳

耳原ヘルパーステーションともうず
統括科長　小川　頼子

ワンコイン助っ人隊との連携で在宅支援

地域包括ケアを推進するにあたり、介護事業部では「NPO法人結いの会ともうず」の「ワンコイン助っ人隊」との連携で、利用者の在宅生活を支えています。

「NPO法人結いの会ともうず」では、介護保険が始まる前から耳原総合病院に入院している方の洗濯や、在宅で困っている方の支援をしてきました。

2014年7月からは「ワンコイン助っ人隊」として、高齢者世帯などを対象に、照明器具の球かえやゴミ出し、大掃除、庭掃除、ペットの世話、外出の付き添いなど、介護保険外サービスを担っていただいています。

2018年度は新規利用契約者が62人、累計の利用契約数は267人となりました。支援する助っ人は219人が登録、これまでの活動経験者は75人となっています。利用回数も年々増加し、2019年度はすでに月平均100回を超える出動となっています。

具体的には、文化住宅の2階に住む高齢のひとり暮らしの方が、ゴミ出しができず、ヘルパーが前日に出すと近隣からクレームがあるため、「ワンコイン助っ人隊」が週2回早朝に出しているケース。退院後、自宅に戻ると部屋に物が溢れ、ベッドを置くスペースがなく、ケアマネと「ワンコイン助っ人隊」が連携し、部屋の片付けをして介護サービスを導入するケースなどがありました。

その他にも介護認定で非該当になった方や、限られた制度や介護度の枠組みの中で、必要なサービスが受けられず困っている高齢者や障害者がたくさんおられます。

ヘルパーステーションでは、この間の制度改悪のため、介護保険だけでは利用者の要望に応えられない事がますます増えています。さらに人材不足によってヘルパーの確保も厳しく、日々の生活と命を守る生活援助サービスを十分に提供することも困難となってきています。

こうしたことから、「ワンコイン助っ人隊」の活動が今後ますます求められてくると考えられます。

介護職員の確保のため、今年も9月より「介護職員初任者研修」を開催します。

引き続き、地域との連携、協力で、在宅を支えていける組織であり続けたいと思います。

Letter お便り

会員さんから「とも」に届いたお便りを紹介します。

今年も…

北区南花田町　船ヶ迫　節子

今年も梅干しとラッキョウ作りの季節になりました。少しづつ元気になってきたので、今年の梅干し、ラッキョウ、梅酒作りにはげもうと思っています。でも、右腕がだめなので、どうかな?

便利です

西区神野町　幸野　紀子（43歳）

クイズの応募がメールで送れるようになり、わざわざハガキを買いに行かなくていいので便利になりました。

小寺冨美代

ともの家

中区土師町　仲井　栄子（78歳）

土師ともの家で、いつも皆様と楽しませてもらってます。ありがとう!毎年日曜ドックもお世話になっています。

メールで応募

高石市羽衣　米野　純子（67歳）

今回、メールで応募出来ると知り、早速活用しました。楽しみです♪

参加したい

南区深阪南　光田　清隆（58歳）

いろいろなイベントが催されているので、参加してみたいと思います。

柿本　初野

60年のあゆみ

東区西野　田中　たくみ（54歳）

「60年のあゆみ」たまっていた切抜きをようやく読み始めました。なかなか興味深いとの思いしきり。

らっきょう

北区新堀町　松本　真弓（42歳）

こたえが「らっきょう」で笑ってしまいました。この季節に出産して、実家に帰ってた私は、母が梅干しと、らっきょうの漬け込みなど、季節の仕事をしていた事を思い出したからです。忘れないようにしたい習慣ですね。